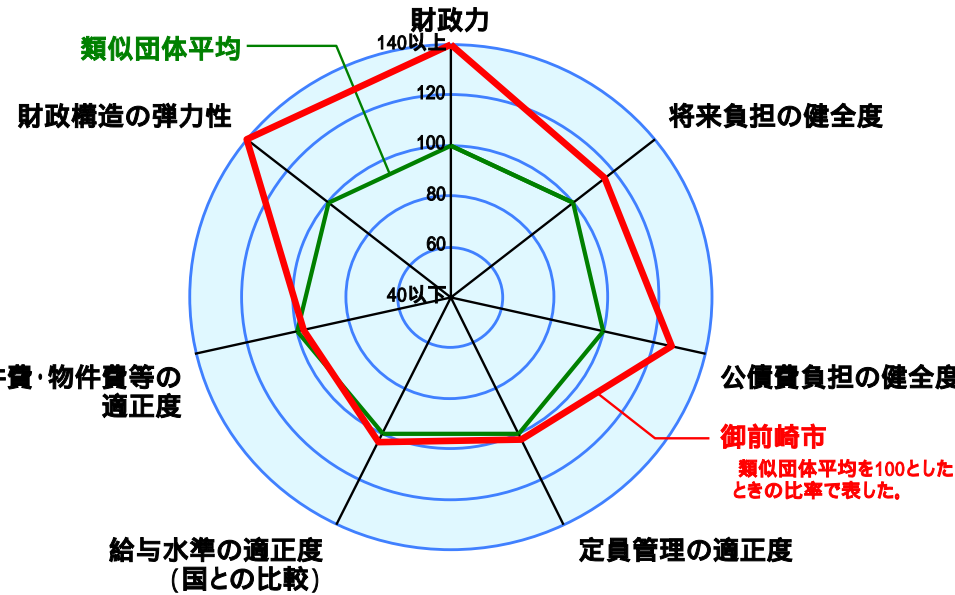
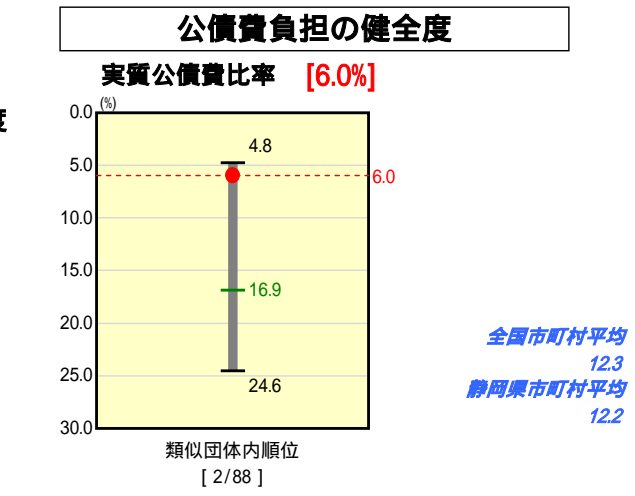
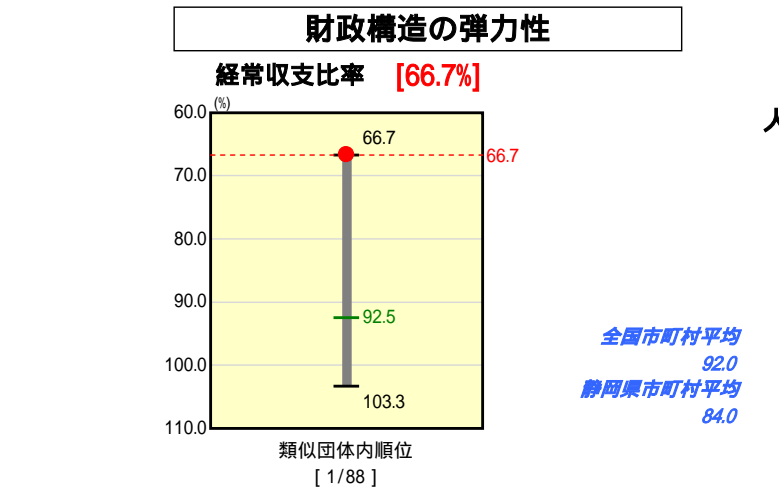
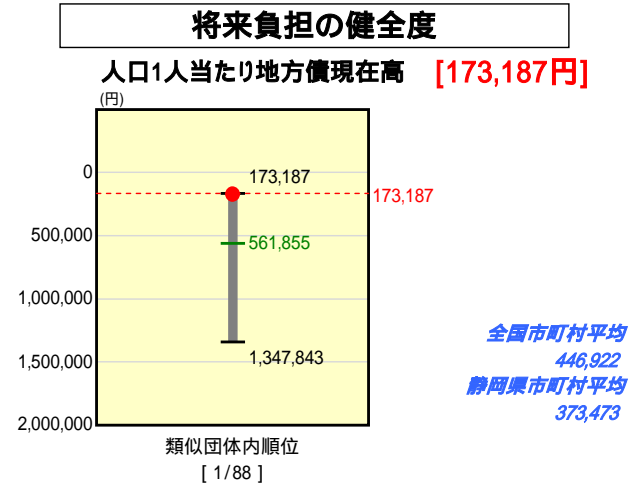
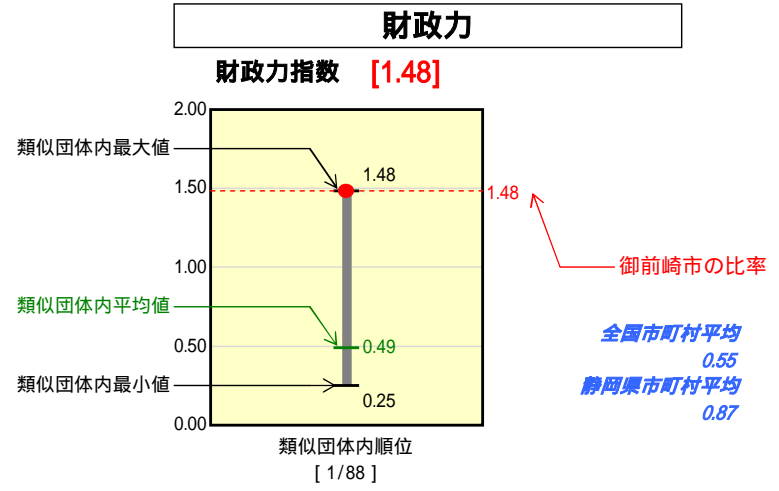


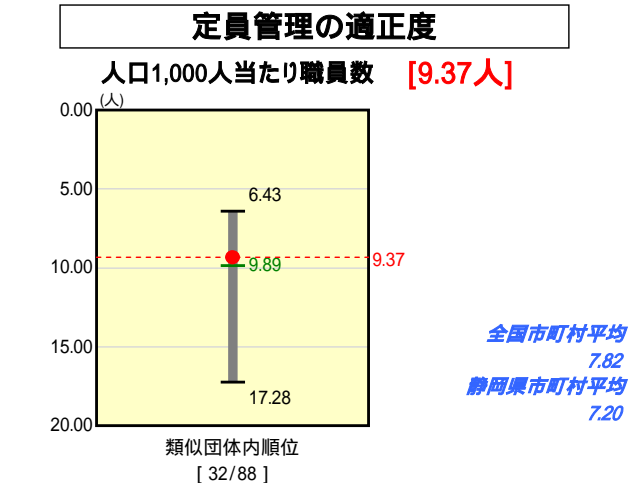
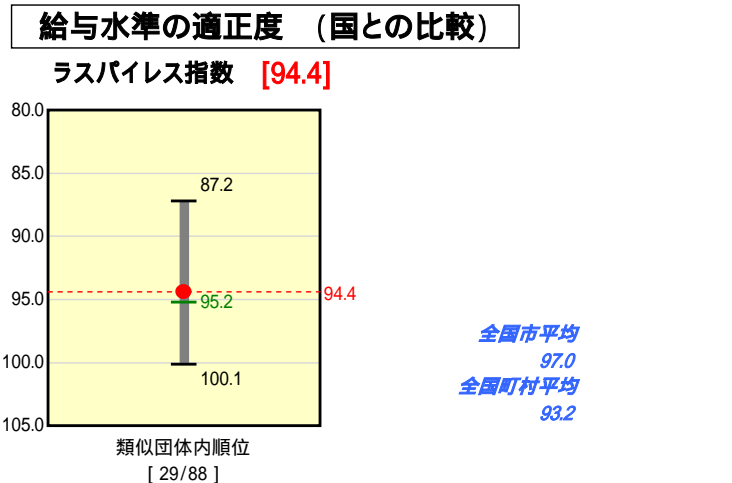
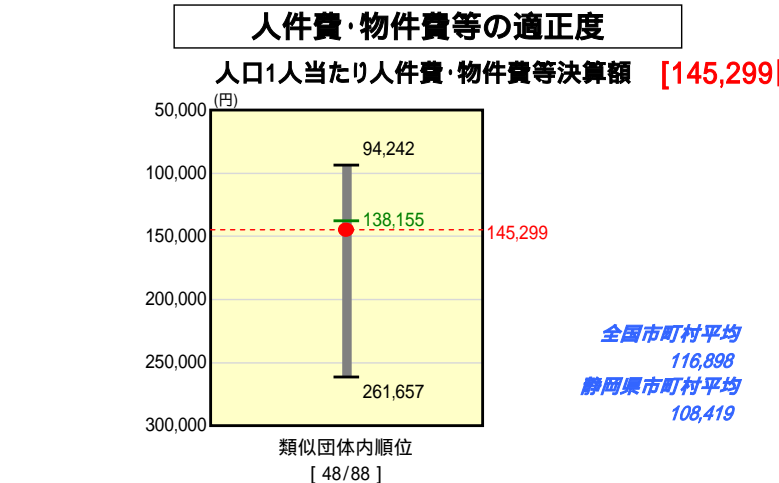
市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

静岡県 御前崎市

人口	34,900	人(H20.3.31現在)
面積	65.85	km ²
歳入総額	19,650,000	千円
歳出総額	18,502,298	千円
実質収支	877,356	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
 平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
 ラスバイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数
 大型事業所の立地により類似団体平均を上回る税収があるため、1.48となっているが、これらの税収は、今後、大幅に減少することが予想されるため、集中改革プランに沿った歳出削減に努める一方、新たな財源確保に向けた企業誘致や産業振興策を推進し、財政基盤の強化を図る。

経常収支比率
 経常収支比率は、66.7%と類似団体を大幅に下回っているが、これは他団体と比較して投資的経費の割合が高いためである。今後は、集中改革プランに沿った行財政改革の着実な推進により、経常収支比率の急激な上昇を抑える。

ラスバイレス指数
 給与と構造の見直し等により類似団体平均を下回っているが、今後、より一層の給与の適正化に努める。また、時間外勤務手当の抑制や特殊勤務手当の見直しなど行政改革への取り組みを通じて人件費の削減に努める。

実質公債費比率
 過去からの起債抑制策により類似団体平均を大幅に下回っている。今後は、緊急度や住民ニーズを的確に把握した事業の選択により、起債に頼ることのない財政運営に努める。

人口1人当たり地方債現在高
 起債抑制により、現在のところ類似団体平均を下回っている。今後、予想される大型プロジェクトには積極的な基金積立を行うことで対応し、引き続き新規発行債は抑制し財政の健全化に努める。

人口1,000人当たり職員数
 原子力発電所の立地及び重要港湾を抱えているために対応部署を設置し、更には合併による住民サービスの低下を防ぐため支所を設置しているが、職員数は類似団体の平均的水準を維持している。事務事業の見直しや民間委託の推進、退職者不補充により、今後、さらなる定員の削減に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額
 類似団体平均に比べ高くなっているのは、主に物件費を要因としており、CATV事業や市民プール等の管理運営業務を市の出資する法人へ委託しているためである。今後は、委託先の対象を民間企業へも広げることにより、コストの低減を図っていく必要がある。